

平成 17 年度 身近な野生生物の観察事業について

1. 目的

EXTEND 2005 の中で、「野生生物の観察」が一番目の柱として位置付けられており、今年度から身近な野生生物の観察事業を開始した。

本事業は、地域レベルでの既存の活動を活用・支援し、全国的な展開や各地域での継続活動を確保するためのものである。子ども達や一般市民の方々に、生態系に対する関心・興味をもって頂くことを主な目的とする。

2. 平成 17 年度の取組

今年度は、事業初年度であるため、試行的に事業を展開した。具体的には、既存のこどもエコクラブの体制を活用することとし、事務局である日本環境協会の推薦によるクラブの中から全国 10 クラブ（P 3）に協力して頂くこととした。

7 月に野生生物の観察の専門家（指導委員）及び、エコクラブの代表指導者（調査委員）で野生生物の観察事業準備会（P 4）を開催し、本事業で今年何ができるかの検討を行った。生き物の観察に役立つよう、観察用水槽を各クラブに配布した。

8 月より、各クラブにおいて観察事業準備会の結果に沿って、実際に生き物観察を実施、12 月にレポートを提出して頂いた。

2 月、提出されたレポートの内容に対する指導委員のコメントをもとに、こどもエコクラブ全国フェスティバルへ代表として参加するクラブを決定した（近木っ子探検隊、善通寺こどもエコクラブ筆岡、葉鹿エコクラブ）。

3 月 25 日・26 日三重県亀山市において開催されたこどもエコクラブ全国フェスティバルでは、専用のブース「身近な生き物を観察しよう！」を設置し、メダカやカエルといった実際の生き物の展示・解説を行い、身近な野生生物の観察事業紹介パネルや各クラブの観察レポートパネルを展示した。さらに、ゲストスピーカーとして自然環境研究センター 千石正一先生を招聘し、フェスティバルのメイン会場で、生態系における生物間の連関をテーマに（「いのちはみんなつながっている」）講演をして頂いた（参考資料 4）。

3月中に、観察レポート、アンケート結果、指導委員からのコメント等（別添資料）をとりまとめた報告書を作成し、各クラブに送付する予定である。

（参考）こどもエコクラブ全国フェスティバル

全国の都道府県のこどもエコクラブの代表が一堂に会し、交流を深めるとともに、各地で展開されている活動の紹介を通じ、こどもエコクラブ事業の拡大を図るため、毎年、こどもエコクラブの1年間の活動の締めくくりとなる全国フェスティバルが開催されている。

3．今後の方針

平成17年度試行事業の成果を参考に、平成18年度は全国のこどもエコクラブに参加を募り規模を拡大する。

クラブ紹介

クラブ名	クラブ所在地		グループの種類	代表 サポーター名	サポーター	活動内容
いわいずみこども エコクラブ	岩手県	岩泉町	岩泉小学校の なかまたち	泉山 博直		緑の募金 自然観察会、星空観察会、ほたる観察会 たんぼの生き物調べ 樹名盤設置 巣箱作り 100万人のキャンドルナイト
盈進中学校環境 研究部	広島県	福山市	学校のクラブ	大北 祐治	中学校教諭	芦田川の水生物調査と保護 ・水生昆虫・水質調査・スイゲンゼニタナゴ の調査と保護 千塚池の生物・水質・オニバスの成長記録 広島県せとうち海援隊 ・指標生物調査(仙酔島)
大岡なかよしクラ ブ	静岡県	沼津市	近所のお友達	松井 恵子	町内会のポラン ティア	黄瀬川・狩野川の生きもの調査 オオブタクサ除去 毎年「フェスタ・コスタ・テル・ゴMIN千本浜」で 成果を発表
鹿児島市立甲東 中学校エコクラブ	鹿児島県	鹿児島市	学校のクラブ	小迎 寿一郎	中学校教諭	ケナフ・ワタの栽培・観察
近木っ子探検隊	大阪府	貝塚市	自治体の募集	西澤 真樹子	貝塚市立自然遊 学館職員	トンボ池の保全活動への協力 水の調査「WAQU2調査隊」への協力 近木川の生きもの調査 大阪府水辺の発表への調査
こどもエコクラブく しろ	北海道	釧路市	地域の小中 学生	佐々木 誠治		トンボ、野鳥、植物の観察調査 外来種ウチダザリガニの駆除 釧路湿原自然再生における野生生物の生 息環境保全や修復、 生態系の健全さを取戻す再生事業参加活 動
善通寺こどもエコ クラブ筆岡	香川県	善通寺市	子ども会	井上 修	造園研究所職員	川の生き物調査・水質調査 土壌の生物調査 植物・樹木調査(継続・同じ場所)
野島自然観察探 見隊	神奈川県	横浜市	近所のお友達	安部慶太郎	横浜市市民活動 支援センター職員	全国水環境マップへの参加 野島海岸の生きもの調査 宮川の生きもの観察・バックテスト等 ホタルの観察会・クサフグの大産卵 野鳥観察、野外観察・自然観察・地域交流
葉鹿エコクラブ	栃木県	足利市	小学校を中心 に環境に興味 のある子ども の集り	大島 由臣	小学校教頭	1.彦谷川の水質検査(PH、COD、透明度)と EMによる浄化活動 2.土曜日の「親子環境学習会」の企画・運営 3.廃油回収と石けん作り
元総社エコクラブ 「わんぱく探検隊」	群馬県	前橋市	地区内小中 生有志によるク ラブ	城田 博巳		毎月のトレーニング、環境学習会への参加 牛池川の水質調査(水生生物、定点観測) 清掃クリーン作戦 サマーキャンプ、雪山交流会、スキー講習 リサイクルバザー

平成17年度 野生生物の観察事業準備会

< 指導委員 >

青山 博昭	残留農薬研究所毒性部副部長兼生殖毒性研究室長
井口 泰泉	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター教授
斉藤 秀生	自然環境研究センター
戸田 光彦	自然環境研究センター
花里 孝幸	信州大学山地水環境教育研究センター
福井 行雄	広島大学大学院生物圏科学研究科
安間 繁樹	農学博士

< 調査委員 >

安部 慶太郎	野島自然観察探見隊
泉山 博直	いわいずみこどもエコクラブ
井上 修	善通寺こどもエコクラブ筆岡
大北 祐治	盈進中学校環境研究部
大島 由臣	葉鹿エコクラブ
小迎 寿一郎	甲東中学校エコクラブ
佐々木 誠治	こどもエコクラブくしろ
城田 博巳	元総社エコクラブ
西澤 真樹子	近木っ子探検隊
松井 恵子	大岡なかよしクラブ